

平成30年度当初予算 競馬事業局主要施策の概要

◎予算編成のポイント

- ・ 金沢競馬を取り巻く環境は、売上の主軸となっているインターネットを利用した在宅投票による売得額の増加により、総売得額は増加傾向にあるものの、先行きは不透明な状況にあり、平成30年度の事業実施にあたっては、全国の競馬ファンに向けた広報活動の充実などにより、新規ファンの獲得を図り、更なる歳入確保に向けた取り組みを進めていく。
- ・ 金沢競馬場スタンド棟の耐震改修については、引き続き工事を実施する（平成30年度完成）。

◎重点主要施策の概要

○ 自場売得額の確保

収益性の高い自場売得額の増加策として、競馬ファンに喜ばれる多頭数が出走するレースや交流競走の提供により競馬自体の魅力向上に努める。

また、競馬教室の開催、場内イベントの実施などファンサービス向上により来場者の増加を図る。

○ 在宅投票による売得額の確保

売上の主軸となっている在宅投票について、全国版スポーツ紙へのレース情報の掲載を拡大するほか、薄暮レースの実施など、より多くの競馬ファンが金沢競馬の勝馬投票券を購入できるレース編成を行い、売得額の確保に努める。

また、インターネット投票会社と連携した協賛レースの実施や金沢競馬の勝馬投票券を購入したファンに対する本県特産品のプレゼントキャンペーンなどを行い、販売促進を図る。

○ 日本中央競馬会や他場の勝馬投票券の発売の促進

日本中央競馬会（JRA）の勝馬投票券の発売について、引き続き、JRAが開催する全ての平地重賞競走を発売するほか、冬期間、JRAの全レースを発売する日の拡大を図ることにより、新規ファンの獲得を図るとともに手数料収入の確保に努める。

○ 金沢競馬場の耐震化

金沢競馬場スタンド棟の耐震改修については、平成30年度内の完成を目指し、引き続き工事を実施する。

平成30年度当初予算 競馬事業局主要施策の概要

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
歳入	16,808,219	
(1) 収益事業収入	15,204,271	
勝馬投票券発売収入		<p>競馬開催規模</p> <p>開催回数 18回</p> <p>開催日数 71日</p> <p>レース数 826レース</p> <p>自場売得額の確保</p> <p>多頭数が出走する魅力あるレース、交流競走の提供</p> <p>競馬教室等の開催</p> <p>在宅投票による売得額の確保</p> <p>全国版スポーツ紙を利用した広報の拡大</p> <p>薄暮レースの実施</p> <p>ネット投票会社と連携したPR</p>
(2) その他収入	1,603,948	
他場勝馬投票券発売業務協力金等		<p>他場勝馬投票券の発売</p> <p>JRAが開催する全ての平地重賞競走を発売</p> <p>冬期間、JRAの全レースを発売する日の拡大</p>
歳出	16,808,219	
(1) 競馬開催費	16,042,916	金沢競馬の運営管理
(2) 金沢競馬場の耐震化	765,303	スタンド棟の耐震改修 (H30年度完成)